

1年	単元名	大きい数
算数		

1. 単元の目標

100 までの数や 100 を少しこえる数について、ものの個数や順番を正しく数える活動を通して、数の系列を理解し、大小判断をできるようにするとともに、数に親しみながら学ぶ態度を養う

2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

学校図書館資料を活用し、子どもたちにとって興味・関心のある動物を取り上げ、動物に係る数や量（きりんの体の模様など）を扱うことにした。単元をとおしているいろいろな動物が登場し、子どもたちは楽しみながら数を学ぶことができた。

3. 授業での活用場面（4／12）

学習活動	学校図書館の関わり
<p>1 本から、きりんの模様が100こあることを知り、ほかのキリンのもようはどうか問いかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あみちゃんキリン…99こ ・ジラフくんきりん…100こ ・マサイくんキリン…101こ 	<ul style="list-style-type: none"> ・本を見て、きりんの模様の数に着目するよう拡大して見せる。 ・本のキリンとは別に、3頭のキリンのイラストを準備する ・これまでの学習についてふりかえり、どの子どもも、活動の見通しがもてるようにする。
<p>2 めあての確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>きりんのもようの数を ずやことばなどをかいて ともだちに おはなししよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで協力して、模様の数を数える 	<ul style="list-style-type: none"> ・3頭のイラストの模様を数えるためのワークシートを準備する。
<p>3 全体で数を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10のまとまりが10こあったね ・あと1こで100になったんだね 	
<p>4 ふりかえり</p>	

4. 考察（成果や課題等）

学校図書館の資料を活用し、動物が登場する単元のストーリーを作成した。単元をとおして子どもたちが数に興味をもち、楽しみながら数えたり、数の構成について学べたりしたことがよかった。

特に、数を数える数学的活動に取り組むために、資料と同じように体の模様がおよそ100個あるキリンのイラストを描いたワークシートを作成し配付したことは、活動意欲を高めただけでなく、子どもたちが自分の考えを表現しやすくなり、数の構成を理解することにつながった。